

1.あゆみ

(1)吹田市公共下水道のあゆみ

本市の下水道事業は、昭和 34 年度(1959 年度)に、市南部地域において最も緊急の課題であった浸水対策事業として、ポンプ場用地の買収と幹線管渠整備工事に着手したのが始まりです。昭和 36 年度(1961 年度)にはポンプ場整備に着手し、その後、同ポンプ場に処理施設を設けて川面下水処理場に変更し、計画区域を拡大しながら、新たに川園ポンプ場も設けることとなりました。

一方、大阪府は、昭和 35 年(1960 年)に千里ニュータウンの建設にあたり下水道整備を進め、その終末処理場として正雀下水処理場を隣接する摂津市に設け、昭和 48 年(1973 年)に本市に引き継がれました。しかし、将来の敷地内更新が困難と判断し、流域下水道への編入を進め、平成 25 年(2013 年)にその機能を停止しました。

また、昭和 40 年(1965 年)には南吹田地区において土地区画整理事業が施行されることにより、南吹田下水処理場の整備とともに土地区画整理事業区域内の管渠整備も進められました。

その後、昭和42年(1967年)に大阪府において本市域を含めた安威川流域下水道の計画が策定され、処理場整備(現在の中央水みらいセンター)にあわせて本市の流域関連公共下水道区域内の管渠整備も進められました。

着手から「生活環境の改善」、「浸水の防除」、「公共用水域の水質保全」を目標に整備を進めた結果、平成23年度(2011年度)末には人口普及率(汚水系)が99.9%に達し、市内のほぼ全域でトイレを水洗化できるようになるなど、下水道事業は衛生的な生活環境の実現に寄与してきました。

しかし、浸水防除のための雨水施設整備については、全市の水洗化を優先課題として取組んだことから、汚水施設に比べて整備率は低くなっています。南部地域では集中豪雨の際に浸水被害が頻発しているため、雨水レベルアップ整備計画などの浸水対策に取組んでいます。

また、「建設」から「維持管理」への転換期を迎え、老朽化対策として平成 29 年度(2017年度)に「下水道ストックマネジメント計画」を、地震対策として平成 30 年度(2018年度)に「下水道総合地震対策計画」を策定するなど、各種対策への取組みを進めています。

管路の維持管理には今後の老朽化への取り組みを充実させるべく、令和3年度から包括的 民間委託を導入しており、令和6年度からは第2期業務を継続して実施しています。民間の 力を活用することにより、ワンストップでの市民対応とともに計画的な管路施設の点検・調 査を行っています。

このような中、経営の透明化、安定化を図ることを目的として、平成 29 年(2017年)4月1日から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、特別会計から地方公営企業会計に移行しました。令和5年度には「吹田市下水道事業経営戦略 2019」の中間見直しを実施し、5年間の社会情勢の変化などを分析、反映した改訂版を策定しました。

今後とも、市民生活になくてはならないインフラのひとつである下水道を持続可能な事業として運営し努めていくことが重要です。そのために、普段は見えにくく意識されにくい下水道の役割や課題、魅力などを積極的に発信していく"見せる化"についても取組みます。

(2) 年表

昭和	33年 12月	初めて川面処理区(旧第1ポンプ場及び第1排水区)の事業計画の認可を受ける
	34年度	下水道整備に着手
	37年 3月	大阪府企業局により千里ニュータウン区域の汚水処理のため正雀下水処理場が摂津市域
		に計画
	37年度	川面下水処理場雨水ポンプの運転を開始
	38年 8月	正雀下水処理場の運転を開始
	40年 3月	建設省令第12号に基づき受益者負担制度を施行
	41年 4月	吹田市下水道条例を制定
	7月	川面下水処理場の簡易処理を開始
	43年 7月	南吹田下水処理場雨水ポンプの運転を開始
	12月	川園ポンプ場の運転を開始
	44年 11月	安威川流域下水道組合(吹田市・高槻市・摂津市・茨木市・箕面市・島本町)が設立
	45年 3月	安威川流域中央下水処理場の運転を開始
	12月	安威川流域下水道組合が安威川・淀川右岸流域下水道組合に改称
	46年 7月	川面下水処理場の高級処理を開始
	8月	南吹田下水処理場の簡易処理を開始
	48年 4月	大阪府より千里丘陵住宅地区の下水道施設(正雀下水処理場を含む)を引継ぐ
		吹田市下水道事業受益者負担に関する条例を制定
	5月	初めて中央処理区(安威川流域関連公共下水道)の事業計画の認可を受ける
	7月	南吹田下水処理場の第1期工事が完成。高級処理を開始
	51年 4月	下水道使用料を改定し、累進制及び水質料金を導入
	55年 3月	吹田市公共下水道整備納入金要綱を制定
		下水道使用料を改定
	59年 4月	下水道使用料を改定
平成	2年 3月	南吹田下水処理場の第2期工事が完成。日最大87,600m ³ の処理が可能に
	4月	デザインマンホール蓋を採用
	5年 3月	川面下水処理場の最終沈殿池を増設。日最大40,800m ³ の処理が可能に
	8年 3月	下水道使用料を改定
	10年 3月	新世代下水道支援事業として川面下水処理場に処理水利用施設を設置
	12年 4月	雨量・水位監視システム(雨量計4か所、水位計1か所)の運用を開始
	12月	大阪府により大阪湾流域別下水道整備総合計画が策定
	13年 4月	雨量・水位監視システムに水位計2か所を追加
	15年 4月	上の川調節池(大阪府河川施設・吹田市管理)の運用を開始
	16年 3月	下水道使用料を改定
	17年 3月	合流式下水道緊急改善計画(川面処理区・南吹田処理区)を策定
	6月	雨水レベルアップ整備事業(豊津工区)に着手
	10月	下水処理場・ポンプ場の遠方監視システムの運用を開始
	19年 3月	新世代下水道支援事業として谷上池雨水浸透貯留施設を設置

4月 安威川・淀川右摩流域下水道協議会が設立 5月 新世代下水道支援事業として雨水貯留タンク設置助成制度(5割助成)を開始 10月 雨水レベルアップ整備事業(豊津工区)の雨水貯留容が20年記事業(9割助成)を開始 10月 雨水レベルアップ整備事業(豊津工区)の雨水貯留容が20年の未公園ボンプを供用開始 22年 9月 南吹田下水処理場の汚泥焼却施設の運転を停止 10月 下水道長寿命化計画(正金処理区正金川処理分区)を策定 37 新世代下水道支援事業として実施した、雨水貯留タンク普及促進事業(設置費用の助成等)を完了(平成21年度:629基、平成22年度:978基) 4月 南吹田下水処理場の高度処理の供用を開始 24年 3月 下水道長寿命化計画(南吹田下水処理場)と策定 9月 川面下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手 9月 川面下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手 9月 川面下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手 25年 2月 下水道長寿命化計画 (川面下水処理場・川園ボンブ場)を策定 4月 川園ボンブ場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池 (旧流量調整池)を供用開始 27年 2月 下水道長寿命化計画 (中央処理区高川処理分区)を策定 3月 川園ボンブ場の岸部ボンブ場送水受入を終了(安威川流域下水道岸部幹線の供用開始)4月 南吹田下水処理場・川面下水処理場・川園ボンブ場)を策定 3月 雨水貯留タンク設置助成制度を廃止 4月 吹田市公共下水道整備納入金要網を廃止 止水板設置助成制度を開始 5月 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)に着手 29年 4月 地方公営企業法の一部(財務規定等)適用を開始 12月 吹田市下水道ストックマネジメント計画を策定 9年 1月 吹田市下水道等路機統計画(BCP)を策定 2年 3月 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 4年 3月 吹田市下水道本経営戦略を策定 吹田市下水道本経営戦略を策定 吹田市下水道本経経計画を策定 12月 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 4年 3月 吹田市水水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 12月 大阪下水道路の足間を3とに一次第2日に対して3日開始 12月 大阪下水道路路設における包括的民間委託が2期目(5年)開始 7年 1月 吹田市下水道路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始	20年 3月	安威川・淀川右岸流域下水道組合が解散
21年 6月 市制施行70周年記念事業として、雨水貯留タンク普及促進事業 (9割助成)を開始 10月 雨水レベルアップ整備事業 (豊津工区)の雨水貯留管及び江の木公園ボンプを供用開始 7 水道長寿命化計画 (正雀処理区正雀川処理分区)を策定 23年 3月 新世代下水道支援事業として実施した、雨水貯留タンク普及促進事業 (設置費用の助成等)を完了 (平成21年度:629基、平成22年度:978基) 南吹田下水処理場の高度処理の供用を開始 下水道長寿命化計画 (南吹田下水処理場)を策定 6月 南吹田下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手 1月 川面下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手 7 水道長寿命化計画 (川面下水処理場・川園ポンプ場)を策定 正雀下水処理場の運転を停止 26年 3月 新世代下水道支援事業として吹田操車場跡地周辺に高度処理水の送水設備を設置 1月 川園ポンプ場の岸部ポンプ場2000 を策定 7 下水道長寿命化計画 (中央処理区高川処理分区)を策定 7 下水道長寿命化計画 (中央処理区高川処理分区)を策定 7 下水道長寿命化計画 (中央処理区高川処理分区)を策定 7 下水道長寿命化計画 (中央処理区高川処理分区)を策定 8月 川園ボンプ場の岸部ポンプ場と次受入を終了(安蔵川流域下水道岸部幹線の供用開始) 4月 南吹田下水処理場・川面下水処理場・川園ボンブ場)を策定 1月 欧田市工水道足場・1月 欧田市工水道と・1月 欧田市工水道を 1月 1月 吹田市工水道で、1月 1月 1	4月	安威川・淀川右岸流域下水道協議会が設立
10月 南水レベルアップ整備事業(豊津工区)の雨水貯留管及び江の木公園ボンプを供用開始 10月 下水道長寿命化計画(正雀処理区正雀川処理分区)を策定 23年 3月 新世代下水道支援事業として実施した、雨水貯留タンク普及促進事業(設置費用の助成等)を完了(平成21年度:629基、平成22年度:978基) 南次田下水処理場の高度処理の供用を開始 下水道長寿命化計画(南吹田下水処理場)を策定 5月 10 10 10 10 10 10 10 1	5月	新世代下水道支援事業として雨水貯留タンク設置助成制度(5割助成)を開始
22年 9月 南吹田下水処理場の汚泥焼却施設の運転を停止	21年 6月	市制施行70周年記念事業として、雨水貯留タンク普及促進事業(9割助成)を開始
7 大道長寿命化計画 (正雀処理区正雀川処理分区) を策定 3月 新世代下水道支援事業として実施した、雨水貯留タンク普及促進事業 (設置費用の助成等) を完了 (平成21年度:629基、平成22年度:978基) 4月 南吹田下水処理場の高度処理の供用を開始 24年 3月 下水道長寿命化計画 (南吹田下水処理場) を策定 6月 南吹田下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手 9月 川面下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手 25年 2月 下水道長寿命化計画 (川面下水処理場・川園ポンプ場) を策定 9月 正雀下水処理場の運転を停止 26年 3月 新世代下水道支援事業として吹田操車場跡地周辺に高度処理水の送水設備を設置 4月 川園ポンプ場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池(旧流量調整池) を供用開始 27年 2月 下水道長寿命化計画 (中央処理区高川処理分区) を策定 3月 川園ポンプ場の岸部ポンプ場送水受入を終了 (安威川流域下水道岸部幹線の供用開始) 4月 南吹田下水処理場・川面下水処理場・川園ポンブ場) を策定 3月 雨水貯留タンク設置助成制度を廃止 1月 吹田市公共下水道整備納入金票綱を廃止 11日 吹田市公道を廃止 12月 12月 13日 15日 15	10月	雨水レベルアップ整備事業(豊津工区)の雨水貯留管及び江の木公園ポンプを供用開始
## 23年 3月 新世代下水道支援事業として実施した、雨水貯留タンク普及促進事業(設置費用の助成等)を完了(平成21年度:629基、平成22年度:978基)	22年 9月	南吹田下水処理場の汚泥焼却施設の運転を停止
等)を完了(平成21年度:629基、平成22年度:978基) 4月 南次田下水処理場の高度処理の供用を開始 24年 3月 下水道長寿命化計画(南次田下水処理場)を策定 6月 南吹田下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手 9月 川面下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手 9月 川面下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手 25年 2月 下水道長寿命化計画(川面下水処理場・川園ボンブ場)を策定 3月 川園ボンブ場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池 (旧流量調整池)を供用開始 27年 2月 下水道長寿命化計画(中央処理区高川処理分区)を策定 3月 川園ボンブ場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池 (旧流量調整池)を供用開始 4月 南吹田下水処理場・川面下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池を供用開始 4月 南吹田下水処理場・川面下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池を供用開始 4月 南吹田下水処理場・川面下水処理場・川園ボンブ場)を策定 3月 雨水貯留タンク設置助成制度を廃止 4月 吹田市公共下水道整備納入金要網を廃止 止水板設置助成制度を開始 5月 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)に着手 29年 4月 地方公営企業法の一部(財務規定等)適用を開始 12月 吹田市下水道半済経統計画(陽CP)を策定 で田市下水道等発経統計画(BCP)を策定 マ田市下水道等発を制面水再生センター、南吹田水再生センターに決定 3年 4月 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 4年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 12月 大阪下水道工程がよりませた。12月 大阪下水道工程がよりまた。12月 大阪下水道工程がよりまた。12月 大阪下水道工程がよりまた。12月 大阪下水道工程がよりまた。12月 大阪下水道工程がよりまた。12月 大阪下水道工程がよりまた。12月 大阪下水道工程を開始下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 4月 所水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの供用を開始下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定	10月	下水道長寿命化計画(正雀処理区正雀川処理分区)を策定
本の 本の 本の 本の 本の 本の 本の 本の	23年 3月	新世代下水道支援事業として実施した、雨水貯留タンク普及促進事業(設置費用の助成
24年 3月 下水道長寿命化計画(南吹田下水処理場)を策定 6月 南吹田下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手 9月 川面下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手 25年 2月 下水道長寿命化計画 (川面下水処理場・川園ポンプ場) を策定 9月 正雀下水処理場の運転を停止 26年 3月 新世代下水道支援事業として吹田操車場跡地周辺に高度処理水の送水設備を設置 4月 川園ボンブ場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池 (旧流量調整池)を供用開始 7 下水道長寿命化計画 (中央処理区高川処理分区)を策定 1月 南吹田下水処理場・川面下水処理場・川面で水処理場・川園ボンブ場)を策定 3月 南吹田下水処理場・川面下水処理場・川園ボンブ場)を策定 3月 雨水貯留タンク設置助成制度を廃止 4月 吹田市公共下水道整備納入金要綱を廃止 止水板設置助成制度を開始 5月 雨水レベルアップ整備事業 (中の島・片山工区) に着手 29年 4月 地方公営企業法の一部 (財務規定等)適用を開始 12月 吹田市下水道総合地震対策計画を策定 吹田市下水道等務継続計画 (BCP)を策定 2年 3月 下水が直業務継続計画 (BCP)を策定 2年 3月 下水が直撃務継続計画(BCP)を策定 1月 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 4年 3月 吹田市市水道部とでは、おける包括の民間委託を開始 4年 3月 吹田市下水道事業経営戦略を策定 1月 大阪下水道広報ぶらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 1月 大阪下水道広報ぶらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 1月 大阪下水道店報ぶらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 1月 京本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日本に対する日		等)を完了(平成21年度:629基、平成22年度:978基)
6月 南吹田下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手 9月 川面下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手 25年 2月 下水道長寿命化計画 (川面下水処理場・川園ボンプ場) を策定 9月 正雀下水処理場の運転を停止 26年 3月 新世代下水道支援事業として吹田操車場跡地周辺に高度処理水の送水設備を設置 4月 川園ポンプ場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池 (旧流量調整池)を供用開始 27年 2月 下水道長寿命化計画 (中央処理区高川処理分区)を策定 3月 川園ポンプ場の岸部ポンプ場送水受入を終了 (安威川流域下水道岸部幹線の供用開始) 4月 南吹田下水処理場・川面下水処理場・川園ポンプ場)を策定 3月 雨水貯留タンク設置助成制度を廃止 上水板設置助成制度を開始 5月 地方公営企業法の一部 (財務規定等)適用を開始 9円 12月 吹田市下水道業務継続計画 (BCP)を策定 9年 4月 地方公営企業法の一部 (財務規定等)適用を開始 1月 吹田市下水道業務継続計画を策定 次田市下水道業務継続計画 (BCP)を策定 7本、が道警路施設における包括的民間委託を開始 1月 次田市下水道業務継続計画 (BCP)を策定 1月 木水道管路施設における包括的民間委託を開始 1月 次田市耐水化計画を策定 1月 大阪下水道広報ぶらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 雨水レベルアップ整備事業 (中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの 供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が 2 期目 (5 年) 開始	4月	南吹田下水処理場の高度処理の供用を開始
9月 10日下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手 25年 2月 17 下水道長寿命化計画 (川面下水処理場・川園ボンブ場) を策定 正雀下水処理場の運転を停止 26年 3月 3月 新世代下水道支援事業として吹田操車場跡地周辺に高度処理水の送水設備を設置 4月 川園ボンブ場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池 (旧流量調整池) を供用開始 27年 2月 17 下水道長寿命化計画 (中央処理区高川処理分区) を策定 3月 川園ボンブ場の岸部ポンブ場送水受入を終了 (安威川流域下水道岸部幹線の供用開始) 4月 南吹田下水処理場・川面下水処理場・川園ポンブ場) を策定 18 雨水貯留タンク設置助成制度を廃止 4月 吹田市公共下水道整備納入金要綱を廃止 止水板設置助成制度を開始 5月 地方公営企業法の一部 (財務規定等) 適用を開始 12月 吹田市下水道業務継続計画 (BCP) を策定 3月 吹田市下水道業務継続計画 (BCP) を策定 2年 3月 17 水処理場の愛称を川面水再生センター、南吹田水再生センターに決定 3年 4月 17 中水道管路施設における包括的民間委託を開始 4年 3月 17 吹田市耐水化計画を策定 17 大阪下水道広報ぶらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 17 中、水道管路施設における包括的民間委託を開始 18 中、水道管路施設における包括的民間委託を開始 19 中、水道管路施設における包括的民間委託が2期目 (5年) 開始	24年 3月	下水道長寿命化計画(南吹田下水処理場)を策定
25年 2月 下水道長寿命化計画 (川面下水処理場・川園ポンプ場) を策定 9月 正雀下水処理場の運転を停止 26年 3月 新世代下水道支援事業として吹田操車場跡地周辺に高度処理水の送水設備を設置 4月 川園ポンプ場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池 (旧流量調整池) を供用開始 27年 2月 下水道長寿命化計画 (中央処理区高川処理分区) を策定 3月 川園ポンプ場の岸部ポンプ場送水受入を終了 (安威川流域下水道岸部幹線の供用開始) 南吹田下水処理場・川面下水処理場・川園ポンプ場) を策定 雨水貯留タンク設置助成制度を廃止 次田市公共下水道整備納入金要綱を廃止 止水板設置助成制度を開始 5月 雨水レベルアップ整備事業 (中の島・片山工区) に着手 29年 4月 地方公営企業法の一部 (財務規定等) 適用を開始 次田市下水道総合地震対策計画を策定 次田市下水道業経営戦略を策定 次田市下水道業経営戦略を策定 次田市下水道業務継続計画 (BCP) を策定 2年 3月 下水処理場の愛称を川面水再生センター、南吹田水再生センターに決定 3年 4月 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 次田市耐水化計画を策定 12月 大阪下水道広報ぶらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 1月 ホルベルアップ整備事業 (中の島・片山工区) の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの 供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目 (5年) 開始	6月	南吹田下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手
9月 正雀下水処理場の運転を停止 26年 3月 新世代下水道支援事業として吹田操車場跡地周辺に高度処理水の送水設備を設置 4月 川園ポンプ場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池 (旧流量調整池) を供用開始 27年 2月 下水道長寿命化計画 (中央処理区高川処理分区) を策定 3月 川園ポンプ場の岸部ポンプ場送水受入を終了 (安威川流域下水道岸部幹線の供用開始) 南、中、田下水処理場・川面下水処理場・一川園ポンプ場) を策定 3月 雨水貯留タンク設置助成制度を廃止 4月 中の出い公共下水道整備納入金要綱を廃止 止水板設置助成制度を開始 5月 雨水レベルアップ整備事業 (中の島・片山工区) に着手 29年 4月 地方公営企業法の一部 (財務規定等) 適用を開始 12月 中、田下水道総合地震対策計画を策定 次田市下水道等経営戦略を策定 次田市下水道等経営戦略を策定 次田市下水道等経営戦略を策定 次田市下水道等移継続計画 (BCP) を策定 2年 3月 下水処理場の愛称を川面水再生センター、南、中、中、市、中、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市	9月	川面下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手
26年 3月 新世代下水道支援事業として吹田操車場跡地周辺に高度処理水の送水設備を設置 4月 川園ポンプ場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池(旧流量調整池)を供用開始 27年 2月 下水道長寿命化計画(中央処理区高川処理分区)を策定 3月 川園ポンプ場の岸部ポンプ場送水受入を終了(安威川流域下水道岸部幹線の供用開始) 4月 南吹田下水処理場・川面下水処理場・川園ポンプ場)を策定 3月 雨水貯留タンク設置助成制度を廃止	25年 2月	下水道長寿命化計画(川面下水処理場・川園ポンプ場)を策定
4月 川園ポンプ場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池 (旧流量調整池) を供用開始 27年 2月 下水道長寿命化計画 (中央処理区高川処理分区) を策定 3月 川園ポンプ場の岸部ポンプ場送水受入を終了 (安威川流域下水道岸部幹線の供用開始) 4月 南吹田下水処理場・川面下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池を供用開始 28年 2月 下水道長寿命化計画 (南吹田下水処理場・川園ポンプ場) を策定 3月 雨水貯留タンク設置助成制度を廃止 4月 吹田市公共下水道整備納入金要綱を廃止 止水板設置助成制度を開始 5月 雨水レベルアップ整備事業 (中の島・片山工区) に着手 29年 4月 地方公営企業法の一部 (財務規定等) 適用を開始 12月 吹田市下水道ストックマネジメント計画を策定 31年 1月 吹田市下水道総合地震対策計画を策定 吹田市下水道事業経営戦略を策定 吹田市下水道事業経営戦略を策定 吹田市下水道で発熱続計画 (BCP) を策定 2年 3月 下水処理場の愛称を川面水再生センター、南吹田水再生センターに決定 3年 4月 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 4年 3月 吹田市耐水化計画を策定 12月 大阪下水道広報ぶらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 雨水レベルアップ整備事業 (中の島・片山工区) の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目 (5年) 開始	9月	正雀下水処理場の運転を停止
27年 2月 下水道長寿命化計画(中央処理区高川処理分区)を策定 3月 川園ポンプ場の岸部ポンプ場送水受入を終了(安威川流域下水道岸部幹線の供用開始) 4月 南吹田下水処理場・川面下水処理場・川園ポンプ場)を策定 3月 雨水貯留タンク設置助成制度を廃止 4月 吹田市公共下水道整備納入金要綱を廃止 止水板設置助成制度を開始 5月 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)に着手 29年 4月 地方公営企業法の一部(財務規定等)適用を開始 12月 吹田市下水道米合地震対策計画を策定 31年 1月 吹田市下水道経合地震対策計画を策定 吹田市下水道業経営戦略を策定 吹田市下水道業務継続計画(BCP)を策定 下水処理場の愛称を川面水再生センター、南吹田水再生センターに決定 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 9年 3月 大阪下水道広報ぶらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始	26年 3月	新世代下水道支援事業として吹田操車場跡地周辺に高度処理水の送水設備を設置
3月 川園ボンプ場の岸部ボンプ場送水受入を終了(安威川流域下水道岸部幹線の供用開始) 南吹田下水処理場・川面下水処理場合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池を供用開始 下水道長寿命化計画(南吹田下水処理場・川園ポンプ場)を策定 雨水貯留タンク設置助成制度を廃止 いた設置 助成制度を廃止 いた設置 助成制度を開始 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)に着手 地方公営企業法の一部(財務規定等)適用を開始 吹田市下水道ストックマネジメント計画を策定 吹田市下水道名・地震対策計画を策定 吹田市下水道事業経営戦略を策定 吹田市下水道業務継続計画(BCP)を策定 下水処理場の愛称を川面水再生センター、南吹田水再生センターに決定 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 吹田市耐水化計画を策定 大阪下水道に報ぶらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始	4月	川園ポンプ場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池(旧流量調整池)を供用開始
4月 南吹田下水処理場・川面下水処理場合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池を供用開始 28年 2月 下水道長寿命化計画(南吹田下水処理場・川園ポンプ場)を策定 3月 雨水貯留タンク設置助成制度を廃止 止水板設置助成制度を開始 5月 雨水レベルアップ整備事業 (中の島・片山工区) に着手 29年 4月 地方公営企業法の一部(財務規定等)適用を開始 12月 吹田市下水道ストックマネジメント計画を策定 31年 1月 吹田市下水道総合地震対策計画を策定 3月 吹田市下水道総合地震対策計画を策定 吹田市下水道業務継続計画(BCP)を策定 下水処理場の愛称を川面水再生センター、南吹田水再生センターに決定 3年 4月 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 4年 3月 吹田市耐水化計画を策定 12月 大阪下水道広報ぶらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 12月 木阪下水道店報ぶらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 4月 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始	27年 2月	下水道長寿命化計画(中央処理区高川処理分区)を策定
28年 2月	3月	川園ポンプ場の岸部ポンプ場送水受入を終了(安威川流域下水道岸部幹線の供用開始)
3月 雨水貯留タンク設置助成制度を廃止	4月	南吹田下水処理場・川面下水処理場合流式下水道緊急改善事業雨水滞水池を供用開始
4月 吹田市公共下水道整備納入金要綱を廃止 止水板設置助成制度を開始 5月 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)に着手 29年 4月 地方公営企業法の一部(財務規定等)適用を開始 吹田市下水道ストックマネジメント計画を策定 31年 1月 吹田市下水道総合地震対策計画を策定 吹田市下水道事業経営戦略を策定 吹田市下水道業務継続計画(BCP)を策定 2年 3月 下水処理場の愛称を川面水再生センター、南吹田水再生センターに決定 3年 4月 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 4年 3月 吹田市耐水化計画を策定 12月 大阪下水道広報ぶらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始	28年 2月	下水道長寿命化計画(南吹田下水処理場・川園ポンプ場)を策定
止水板設置助成制度を開始 5月 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)に着手 29年 4月 地方公営企業法の一部(財務規定等)適用を開始 12月 吹田市下水道ストックマネジメント計画を策定 31年 1月 吹田市下水道総合地震対策計画を策定 3月 吹田市下水道業務継続計画(BCP)を策定 で田市下水道業務継続計画(BCP)を策定 2年 3月 下水処理場の愛称を川面水再生センター、南吹田水再生センターに決定 3年 4月 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 4年 3月 吹田市耐水化計画を策定 12月 大阪下水道広報ぷらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 4月 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始	3月	雨水貯留タンク設置助成制度を廃止
5月 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)に着手 29年 4月 地方公営企業法の一部(財務規定等)適用を開始 12月 吹田市下水道ストックマネジメント計画を策定 31年 1月 吹田市下水道総合地震対策計画を策定 攻田市下水道事業経営戦略を策定 吹田市下水道業務継続計画(BCP)を策定 2年 3月 下水処理場の愛称を川面水再生センター、南吹田水再生センターに決定 3年 4月 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 4年 3月 吹田市耐水化計画を策定 12月 大阪下水道広報ぶらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 4月 ホレベルアップ整備事業(中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始	4月	
29年 4月 地方公営企業法の一部(財務規定等)適用を開始 12月 吹田市下水道ストックマネジメント計画を策定 31年 1月 吹田市下水道総合地震対策計画を策定 吹田市下水道事業経営戦略を策定 吹田市下水道業務継続計画(BCP)を策定 2年 3月 下水処理場の愛称を川面水再生センター、南吹田水再生センターに決定 3年 4月 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 4年 3月 吹田市耐水化計画を策定 12月 大阪下水道広報ぷらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 4月 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始		
12月 吹田市下水道ストックマネジメント計画を策定 吹田市下水道総合地震対策計画を策定 吹田市下水道事業経営戦略を策定 吹田市下水道事業経営戦略を策定 吹田市下水道業務継続計画 (BCP) を策定 2年 3月 下水処理場の愛称を川面水再生センター、南吹田水再生センターに決定 3年 4月 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 4年 3月 吹田市耐水化計画を策定 12月 大阪下水道広報ぶらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 雨水レベルアップ整備事業 (中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの 供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目 (5年)開始	- • •	
31年 1月 吹田市下水道総合地震対策計画を策定 吹田市下水道事業経営戦略を策定 吹田市下水道業務継続計画(BCP)を策定 2年 3月 下水処理場の愛称を川面水再生センター、南吹田水再生センターに決定 3年 4月 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 4年 3月 吹田市耐水化計画を策定 12月 大阪下水道広報ぷらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始		
3月 吹田市下水道事業経営戦略を策定 吹田市下水道業務継続計画(BCP)を策定 2年 3月 下水処理場の愛称を川面水再生センター、南吹田水再生センターに決定 3年 4月 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 4年 3月 吹田市耐水化計画を策定 12月 大阪下水道広報ぷらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始		
吹田市下水道業務継続計画 (BCP) を策定 2年 3月 下水処理場の愛称を川面水再生センター、南吹田水再生センターに決定 3年 4月 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 4年 3月 吹田市耐水化計画を策定 12月 大阪下水道広報ぷらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始		
2年 3月 下水処理場の愛称を川面水再生センター、南吹田水再生センターに決定 3年 4月 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 4年 3月 吹田市耐水化計画を策定 12月 大阪下水道広報ぷらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始	3月	7. T.
3年 4月 下水道管路施設における包括的民間委託を開始 4年 3月 吹田市耐水化計画を策定 12月 大阪下水道広報ぷらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの 供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始	0/= 0.8	XXX 1 1 3 ZXXXX ZXX XXX XXX XXX XXX XXX XXX XXX
4年 3月 吹田市耐水化計画を策定 12月 大阪下水道広報ぷらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの 供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始		
12月 大阪下水道広報ぷらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画 6年 3月 吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始	0 1 173	, s en all a company and a com
6年 3月 次田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定 4月 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの 供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始		
4月 雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始		
供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始		
7年 1月 吹田市上下水道耐震化計画を策定		下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始
	7年 1月	吹田市上下水道耐震化計画を策定

令和